

佐藤 狂六（さとう・きょうろく）

1、プロフィール

川柳作家。板柳川柳社、川柳岩木吟社の結成に参画、また青森県川柳社、県川柳人連盟の発展に尽力した。

<生没>

1901(明治 34)年3月 31 日 ~ 1993(平成5)年9月 11 日

<代表作>

句碑「人はみな幸せに見え旅つづく」

<青森との関わり>

北津軽郡板柳町(当時板柳村)生まれ、当町に獣医として佐藤家畜診療所を開設した。

2、作家解説

明治 34 年板柳村(現板柳町)に誕生。本名親英。大正 13 年麻布獣医学校卒業。大正 14 年板柳町表町に佐藤家畜診療所を開設。大正 15 年頃川柳を始め、小林不浪人の指導を受ける。昭和2年板柳川柳社を結成し代表となる。昭和 12 年、五所川原川柳社、鶴田川柳社、板柳川柳社を合同し、川柳岩木吟社結成、初代代表となる。

昭和 23 年発起人の1人として青森県川柳社を結成、機関誌「ねぶた」の名付け親となる。昭和 30 年頃金枝万作と青森県川柳人連盟を結成し、初代代表となる。連盟として昭和 33 年合同川柳句集『蔓華鏡』を出版。昭和 34 年青森県川柳社初代代表後藤蝶五郎没後二代目代表となる。

県柳壇の草創期から活躍、マスコミ等の選者を多数務め川柳普及に貢献。特に青森県川柳社の結成に尽力した事は記憶すべきである。また、出身地の津軽西北五地方の川柳向上のため大きく尽力した。昭和 58 年県文化賞受賞。

平成5年9月 11 日死去。享年 92 歳。

3、資料紹介

○佐藤狂六川柳句碑

句碑

1993(平成5)年9月12日

石碑 180cm×100cm 台座 45cm×160cm

平成5年9月、川柳岩木吟社が主体となり、板柳町有志および県内川柳人の浄財を受けて、板柳ふるさとセンターに句碑を建立。

「人はみな幸せに見え旅つづく」狂六